



第1部 これからの論理的思考を考える

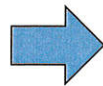
リベラルアーツ実践—応用編

ビジネス・ブレイクスルー大学大学院 教授
明治大学大学院 兼任講師
株式会社タイムズコア 代表

川上真史

これからの思考力

論理的思考

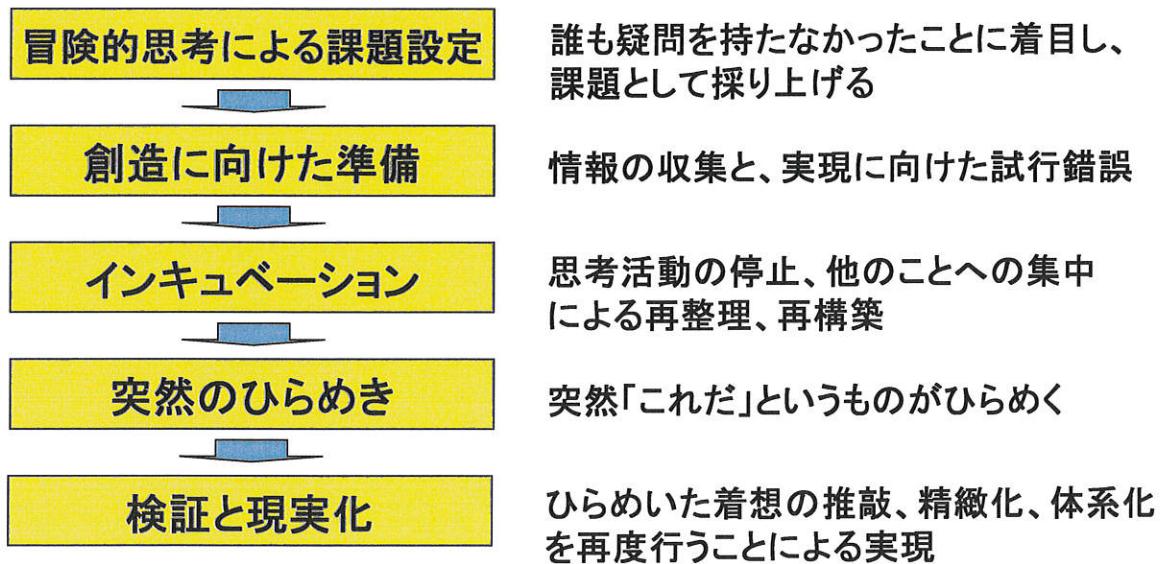


論理+創造的思考

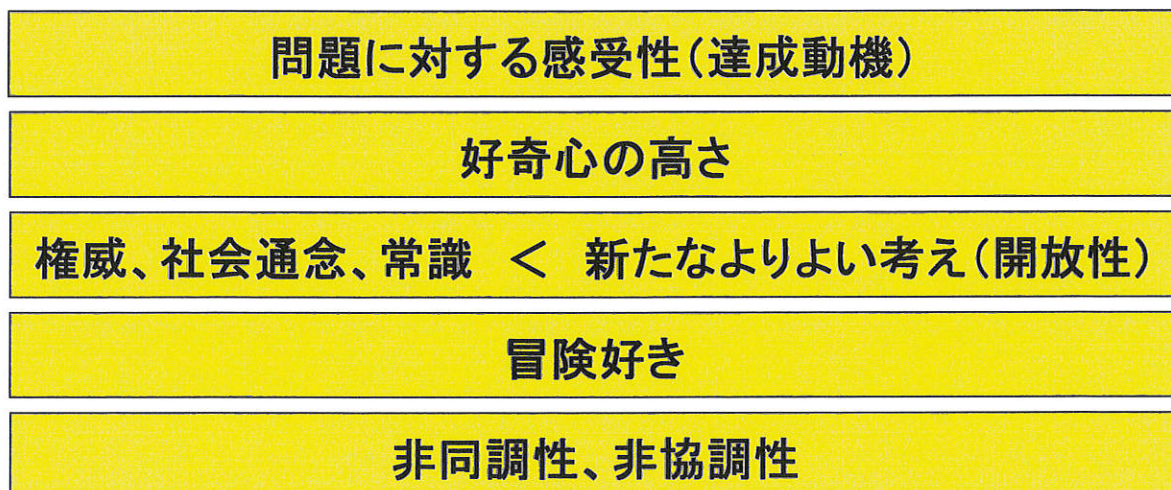
論理的思考とは
間違いなく正解に
たどり着くための思考

多くの課題に正解がない
状況においては、そこに
創造的思考を加える必要
がある

創造的思考の流れ



創造的思考とパーソナリティの関係



いわゆる頭のよさと創造性の差異

高知能群

ユーモアを拒否・否定

課題を与えられれば、
正確な解答を見出す

教師や上位者から好かれ
評価される

高創造性群

ユーモアは好ましい傾向と
とらえる

自ら課題を設定する

教師や上位者から嫌われ
評価が下がる

論理的ではない思考

直感的思考

感覚器を通じて大脳に入ってきた情報に対して、
何も疑問を持たず、その通りに理解し、その通りに
活用しようとする思考

2つのレベルの論理的思考

操作的思考

感覚器を通じて大脳に入ってきた情報を、分析、比較、推論などで操作し、より効果的に活用

具体的操作

ひとつの論理軸であれば操作できる

形式的操作

矛盾や葛藤が存在する複数の検討すべき論理軸を同時に操作し、優先順位をつけながら最適解を導くことができる

形式的操作 事例

コンサルティング会社に勤務するコンサルタントが、顧客企業から、「さらに成果主義の色合いを強めた評価制度を導入したいので、そのプロジェクトを担当してほしい」と依頼された。しかし、その顧客企業の社員は疲弊感が高く、これ以上、成果主義を強めると、かえって生産性が落ちるのは間違いない。一方で、顧客企業の経営状況から考えると、人件費の削除が求められるのも理解できる。また、このプロジェクトを獲得すれば、自分自身のコンサルタントとしての目標数字がぎりぎり達成できる。

- ① この事例の中に含まれている論理軸をすべてあげてください。
- ② 記載されていること以外で、検討に加えるべき論理軸には、どのようなものがありますか？
- ③ それらの論理軸をすべて検討した場合、どのように対応することが最適と考えられますか？

含まれている検討すべき論理軸

成果主義を強めたいという顧客企業からのニーズへの応え方



顧客企業の社員のモラル状況をどう判断するか

成果主義を強めた場合の顧客企業内の反応をどう予測するか



顧客企業の経営状況への対策はどうすべきと考えるか

自分自身の目標達成の可能性についてどう判断するか

加えるべき論理軸

自分自身のコンサルタントとしての能力はどのようなレベルか

顧客企業のトップの本気度はどれくらいか

所属するコンサルティング会社の理念は何か

自分が持っているネットワークにはどのようなものがあるか

より効果的な形式的操作のために

最適解とは最大公約数ではなく、最少公倍数のイメージで

「メタ認知」を意識する

集団で検討する場合は、安易に同調せず、自分で考え続ける

異質性の中での形式的操作

